

3/4 (火) の行事

【道庁プレスリリース】

報道発表資料の配付日時 2月14日(金) 10時00分

発表項目 (行事名)	Local Innovation Challenge HOKKAIDO 2024 成果発表会 (DEMODAY) の開催																										
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者																									
		発表場所																									
概要	<p>STARTUP HOKKAIDO 実行委員会（事務局：北海道ほか）では、道内へのスタートアップ集積に向け、道内の様々な地域課題について道内外のスタートアップとの協業により解決を目指す行政オープンイノベーションプロジェクト「Local Innovation Challenge HOKKAIDO 2024（以下、LICHという。）」を実施しています。</p> <p>この度、スタートアップとの協業に関心のある皆様や道内で新規事業を検討されているスタートアップの皆様の、今後の取組に参考となる実証実験の成果発表会（DEMODAY）を、以下の日程で開催いたします。</p> <p>■事業報告会 概要</p> <table border="1"><tr><td>日時</td><td>令和7年3月4日(火) 13:30~19:30 (開場 13:00)</td></tr><tr><td>場所</td><td>エア・ウォーターの森 (札幌市中央区北8条西13丁目28-21)</td></tr><tr><td>参加費・定員</td><td>無料・100名</td></tr><tr><td>申込</td><td>当日のご参加にあたっては、下記フォームよりお申し込みください。 https://share.hsforms.com/1iCVCZoZvR_uY4YSNjgQ_3gqtf7m</td></tr><tr><td>主催</td><td>STARTUP HOKKAIDO 実行委員会</td></tr><tr><td>採択事業</td><td>11件 (詳細は別紙のとおり)</td></tr></table> <p>■スケジュール</p> <table border="1"><tr><td>13:30~</td><td>開会・プログラム概要説明</td></tr><tr><td>13:40 ~ 14:35</td><td>セッション① 「スマートに泥臭く！スタートアップが挑む自治体 DX」 ※登壇企業：エアロセンス(株)、(株)Stayway、(株)はんぼさき</td></tr><tr><td>14:50 ~ 15:50</td><td>セッション② 「地域に広がるスタートアップとの共創-苫小牧・石狩の事例から」 ※登壇企業：エゾウィン(株)、SOINN(株)、トクティー(株)、(株)ピリカ</td></tr><tr><td>16:00 ~ 17:00</td><td>セッション③ 「農業×テクノロジー×発信力！北海道での新たな試み」 ※登壇企業：SORATechnology(株)、(株)Easy、(株)REACT、(株)ビビッドガーデン</td></tr><tr><td>17:15 ~ 19:15</td><td>交流会</td></tr><tr><td>19:30</td><td>閉会</td></tr></table>			日時	令和7年3月4日(火) 13:30~19:30 (開場 13:00)	場所	エア・ウォーターの森 (札幌市中央区北8条西13丁目28-21)	参加費・定員	無料・100名	申込	当日のご参加にあたっては、下記フォームよりお申し込みください。 https://share.hsforms.com/1iCVCZoZvR_uY4YSNjgQ_3gqtf7m	主催	STARTUP HOKKAIDO 実行委員会	採択事業	11件 (詳細は別紙のとおり)	13:30~	開会・プログラム概要説明	13:40 ~ 14:35	セッション① 「スマートに泥臭く！スタートアップが挑む自治体 DX」 ※登壇企業：エアロセンス(株)、(株)Stayway、(株)はんぼさき	14:50 ~ 15:50	セッション② 「地域に広がるスタートアップとの共創-苫小牧・石狩の事例から」 ※登壇企業：エゾウィン(株)、SOINN(株)、トクティー(株)、(株)ピリカ	16:00 ~ 17:00	セッション③ 「農業×テクノロジー×発信力！北海道での新たな試み」 ※登壇企業：SORATechnology(株)、(株)Easy、(株)REACT、(株)ビビッドガーデン	17:15 ~ 19:15	交流会	19:30	閉会
日時	令和7年3月4日(火) 13:30~19:30 (開場 13:00)																										
場所	エア・ウォーターの森 (札幌市中央区北8条西13丁目28-21)																										
参加費・定員	無料・100名																										
申込	当日のご参加にあたっては、下記フォームよりお申し込みください。 https://share.hsforms.com/1iCVCZoZvR_uY4YSNjgQ_3gqtf7m																										
主催	STARTUP HOKKAIDO 実行委員会																										
採択事業	11件 (詳細は別紙のとおり)																										
13:30~	開会・プログラム概要説明																										
13:40 ~ 14:35	セッション① 「スマートに泥臭く！スタートアップが挑む自治体 DX」 ※登壇企業：エアロセンス(株)、(株)Stayway、(株)はんぼさき																										
14:50 ~ 15:50	セッション② 「地域に広がるスタートアップとの共創-苫小牧・石狩の事例から」 ※登壇企業：エゾウィン(株)、SOINN(株)、トクティー(株)、(株)ピリカ																										
16:00 ~ 17:00	セッション③ 「農業×テクノロジー×発信力！北海道での新たな試み」 ※登壇企業：SORATechnology(株)、(株)Easy、(株)REACT、(株)ビビッドガーデン																										
17:15 ~ 19:15	交流会																										
19:30	閉会																										
申し込み フォーム ↓ 																											
報道(取材) に当たって のお願い	取材を希望する場合は、所属、氏名、連絡先を記載の上、3月3日(月)15時までに下記のLICH事務局メールアドレスまで、ご連絡ください。 メールアドレス： lich@startuphokkaido.com																										
担当 (連絡先)	経済部産業振興局スタートアップ推進室 (担当者：長崎、山口) TEL ダイヤルイン 011-204-5336 内線 26-885																										

別紙：Local Innovation Challenge Hokkaido 2024 採択事業一覧

	道内(市町村/事業者) スタートアップ	実証タイトル	実証内容
1	山本浄化興業㈱【苫小牧市】 渡邊清掃㈱【標津町】 エゾウィン㈱【標津町】	超高精度GPSロガーによるごみ処理業務の効率化実証	本実証では、ゴミ収集業務におけるルート最適化と安全性向上を目的に、超高精度GPSロガーを活用した車両等の走行軌跡をリアルタイムに可視化するアプリ「レボサク」を活用して、収集作業員ごとの走行ログを収集・比較することにより、ごみ収集の最適なルートを確認や日報作成業務の効率化等、業務負担の低減を図るための検証を実施。
2	鶴居村 エアロセンス㈱【東京都北区】	国産eVTOLを活用した自治体業務DX	本実証では、鶴居村役場の複数の課を横断し、VTOL型固定翼ドローンで撮影したデータの利活用を図る実証実験を実施。約300haの計測を実施し、道路点検データとしての活用、鹿の頭数などの判別、カーボンクレジット創出に向けた資源量の調査、キラコタン岬の植生状況把握等についての検証を実施。
3	さくらインターネット㈱【石狩市】 SOINN㈱【東京都町田市】	AIによる石狩データセンター空調の最適制御	本実証では、コンパクトで高機能な空調最適化 AI「E-1」により、さくらインターネットが運用する石狩データセンターの空調を最適制御することで、データセンターの省エネや室温安定化、空調管理の省力化を図る。また、空調制御に影響を与える多様なデータの取り込みも可能であり、サーバの発熱状況に応じた空調の最適制御を目指す。
4	北海道改良区【岩見沢市】 SoraTechnology㈱【愛知県】	ドローンを用いた水田における中干し期間の証明	水稻栽培では、水田の水を一定期間抜いて乾燥させる「中干し」という作業が行われるが、この「中干し」は稲の品質低下と収穫量の減少を防ぐとともに、温室効果ガスの一つであるメタンガスの発生を抑制する効果がある。本実証では岩見沢市において、中干し期間の証明として、ドローンを用いた空撮と水の有無を判別する独自手法の実証を実施。
5	鷹栖町 ㈱REACT【栃木県宇都宮市】	自動走行ロボットによる野菜収穫	本実証では、鷹栖町においてミニトマト等の収穫作業の効率化を目的に、農業用搬送ロボットを施設園芸農業の収穫作業に導入し、実際にロボット導入による省力化・省人化の効果が発揮できるかを検証。
6	札幌市 ㈱Easy【東京都渋谷区】	Fortniteを活用した札幌農業体験メタバース	本実証では、札幌市民や世界中の人々に札幌農業の魅力を伝え、農業への関心を高めることを目的とし、Fortniteを活用した札幌の農場経営体験メタバースを札幌市と共同で開発。このメタバースでは、プレイヤーは農場を営み、作物の栽培・販売、乳製品工場やスーパーカーレーレストランの運営など、札幌の農業に関する様々な体験が可能。
7	苫小牧市 トクティー㈱【東京都港区】	特定技能人材の雇用・定着促進のための課題把握と改善策の実行に向けた、イベントの実施	本実証では、特定技能人材の雇用・定着促進のため、自治体と連携し、地元企業・住民向けに特定技能人材の雇用・採用・地域支援に関するセミナーや相談会を開催する。社会背景やデータをもとにした、外国人採用の最新情報のプレゼンや、来場者との対話形式のセッションを実施することで、地域特有の課題発見・解決に寄与することを目指す。
8	コープさっぽろ苫小牧支部 山本浄化興業㈱【苫小牧市】 ㈱ピリカ【東京都渋谷区】	車両とごみ検知AIを組み合わせたポイ捨て・不法投棄ごみ問題の解決	本実証では、苫小牧市内で、路上ごみ分布調査システム「タカノメ」を用いて、ポイ捨てごみの多い場所を特定、可視化する。調査結果をもとに現地で清掃活動を実施し、また、得られたデータは自治体などがごみ流出対策を講じるための基礎データとして活用する。
9	北村林業㈱【浦幌町】 ㈱はんぼさき【東京都港区】	共有地図LivMapによる林業のDX	林業においては、森林計画図・森林簿・施業図などの用意に手間がかかる、報告の業務負担が大きい、ノウハウの承継が難しいなど、地理情報の共有化に関する課題が多い。本実証では、必要な地図を現場に持ち出すことを可能にし、また、地図上で現場の状況をリアルタイムに把握できる共有地図「LivMap（リブマップ）」を活用し、林業が抱える課題の解決に取り組む。
10	札幌市 ㈱Stayway【大阪市中央区】	自治体向け補助金DX「補助金クラウド for Gov.」を活用した業務の効率化	本実証では、自治体の補助金業務の負担を軽減するために、事業者からの問い合わせ対応から申請情報の管理、自治体内での審査、補助金の支払いまでを一括で管理できる「補助金クラウド for Government (for Gov)」を活用し、サンプルデータを用いた補助金申請業務の効率化を検証。
11	MEMURO PEANUTS【芽室町】 ㈱なまら十勝野【芽室町】 ㈱ビビットガーデン【東京都港区】	ビッグデータで生産者のチャレンジを伴走支援する実証モデルの構築	本実証では、農漁業者にとってはチャレンジしたいが単独では販路開拓が難しい取り組み初期の品種や、新たにブランディングしたい商品などについて、産直EC「食べチョク」が持つ100万人の顧客基盤を活用しテストマーケティングを行う伴走型支援モデルを構築・実証することで、農漁業者の所得向上を通して地域経済の活性化に貢献する。